

# 附属学校園 第2期改革構想の方向性について（概要）

国立大学法人大阪教育大学  
令和8年3月

# 附属学校園改革に向けたロードマップ

学校名	第1期			第5期				
	R7	R8	R9	R10~				
	【第2期改革構想の方向性】策定	<b>「第2期改革構想」策定再編計画の具体化</b> ・ 設置場所（天王寺・平野）と学校像、各地区将来像の検討 ・ 池田地区の教育改革の具体化 ・ 平野小学校、池田小学校の規模の検討 ・ ステークホルダーへの説明と意見交換	第5期中期計画作成					

学校名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
附属池田小学校		<b>第2期改革</b> 規模の検討							
附属池田中学校	<b>第1期改革 (R7.3.6役員会決定)</b> 概算要求	クラス減開始 4→3 教育改革の具体化 中高一貫教育の推進 連絡進学の見直し		クラス減完成					
附属高等学校 池田校舎			新コース設置	概算要求	クラス減開始 4→3			クラス減完成	
附属天王寺小学校									
附属天王寺中学校	概算要求	クラス減開始 4→3		クラス減完成					
附属高等学校 天王寺校舎				概算要求	クラス減開始 4→3			クラス減完成	
附属幼稚園	概算要求	定員減開始	定員減完成						
附属平野小学校		規模の検討	概算要求	規模の適正化					
附属平野中学校									
附属高等学校 平野校舎									
附属特別支援学校									

**池田地区**  
 本学及び大阪大学との連携を軸とした小中高大連携事業の推進

**天王寺・平野地区**

- ・ みらい教育コモンズを軸とした先導的教育モデルの確立
- ・ 幼・小・特支の連携深化による「多様性の理解と協働に基づく教育の拠点」化

# 附属学校園第2期改革構想の方向性について（概要）

## ■ 附属学校園のミッションと改革の方向性

◎ 附属学校園のミッション（先導的な教育実践や大学と一体となった組織的な教育研究の機能をさらに強化）

- 教育課題や次期学習指導要領を踏まえた先導的教育実践
- 実践的な学びの場としての教員養成・教員育成への貢献
- 大学や企業と連携した、新しい教育プログラムや教材の開発
- 地域の学校や教育委員会との連携による、教育課題解決モデルの提供

## ■ 附属学校園を取り巻く状況等

### 📉 受験倍率の低下と急激な児童生徒数の減少

令和8年度からの定員減に伴い倍率は改善したが、受験者数は減少傾向。

### 👥 教員配置・確保の課題

- 自治体との人事交流不調の増加。 R4：7% → R8：14%
- 直接採用教員確保率の低下。 R1～：60%～80% → R8：17%

### 👨👩 児童・生徒指導及び保護者対応の複雑化

- 個別配慮の必要性
- ネット空間でのトラブル等多層的な問題

### 🏢 施設の老朽化

- 多くが建築から60年以上が経過。
- 大学の理念、施設の現状、財務状況の見通し等を踏まえて、既存施設のトリアージの実施が必要とされる。

### ✅ 運営経費の増加と確保

- 法人全体に対する附属学校園運営に必要な経費が占める比率の増加。  
H20 31.0% → R6 35.7%（11教員養成大学平均 28.2%）
- 附属学校園の施設老朽化への対応や先進的教育への対応に必要な財源確保が困難。

## ■ 第2期改革構想検討の観点

「附属学校園のミッションと改革の方向性」、「附属学校園を取り巻く状況等」を踏まえ現状維持を前提とせず、以下の観点に立ち検討を行う。

- ① 附属学校園が有する教育実践の伝統と蓄積を活かした**先導的・先進的教育を担いうる新しい学校像**の検討
- ② **大学との連携の在り方の再構築**と、これからの教員養成・育成に真に貢献しうるシステムの検討
- ③ 今後の児童・生徒数の急減を踏まえた、**附属学校園全体の適正規模・学校園数**の検討
- ④ 施設の老朽化を踏まえ、**施設総量を抑制**し、大学との連携による教育研究効果を最大化できる**設置場所及び施設整備の方向性**の検討

## ■ 第2期改革の方針

### ① 附属学校園のガバナンス体制の整備

- 附属学校統括機構を中心としたガバナンス体制を一層強化
- 学校運営体制の強化や附属学校間の連携強化
- 大学・附属学校園・企業（教育委員会）による三位一体の連携体制を整備（みらい教育コモンズ（仮称）の構築）

### ② 人事マネジメントの強化と附属学校園教員の魅力向上

- 専任校長による適切なリーダーシップが発揮できる環境整備
- 直接採用選考制度の改善
- 交流人事制度の見直し
- 附属学校園間異動の活性化
- 働き方改革の推進
- 附属学校園教員ならではのさらなる魅力向上

### ③ 教育課題や社会環境の変化等を踏まえた先導的・先進的教育への取組強化

- 附属学校間、あるいは大学教員等との連携・協働体制を強化
- 先導的なカリキュラム開発や教材開発を推進
- 研究成果を地域の学校や教育委員会へ積極的に発信・還元
- 企業連携を強化し、外部の専門知見を導入

### ④ 附属学校園の再整備

#### 天王寺・平野地区の改革方針

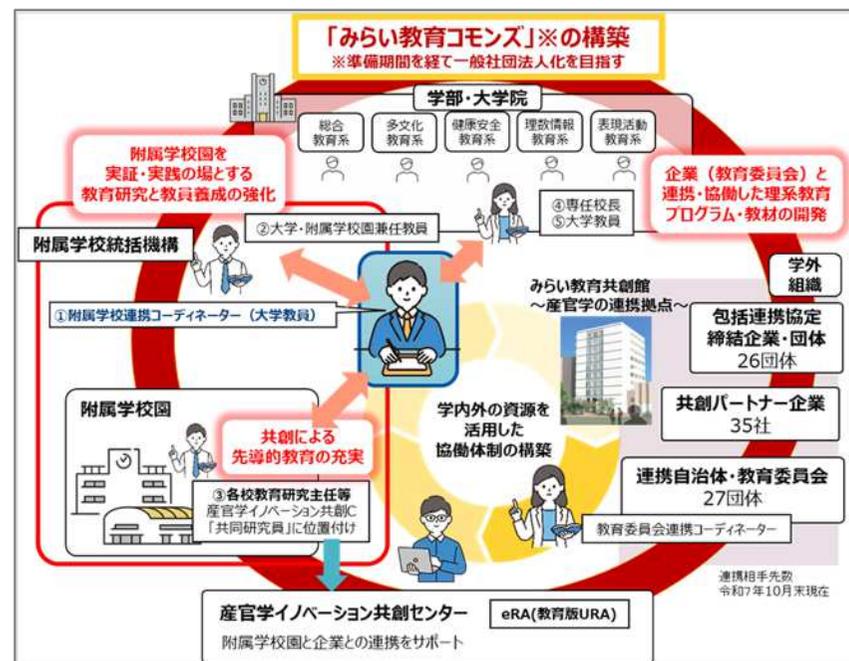
- みらい教育コモンズを軸とした先導的教育モデルの確立
- 幼・小・特支の連携深化による「多様性の理解と協働に基づく教育」の拠点化

- ◆ 2中学校、高等学校2校舎 → 1中学校、1高等学校へと再編を検討
  - ・ 新たな併設型中高一貫校（4クラス／学年を基本に検討）としての開設
  - ・ 次期学習指導要領を先取りした、大学や企業と連携したカリキュラムの検討
  - ・ 設置場所の決定、既施設・設備を最大限活用したうえで、新校舎建設を目指す
- ◆ 附属幼稚園の収容定員に伴う附属平野小学校の規模の検討
- ◆ 附属天王寺小学校についても、附属学校に求められる使命・役割や全体の改革状況を踏まえた在り方の検討を進める

#### 池田地区の改革方針

- 本学及び大阪大学との連携を軸とした先導的教育モデルの構築

- ◆ 連絡進学見直しによる中高連携強化、併設型中高一貫校へと再編を検討
  - ・ 探究活動の系統化・高度化
  - ・ スーパー探究コース、グローバルコースの設置（令和9年度予定）
  - ・ 実践的スキルの習得（アントレプレナーシップ教育）
- ◆ 附属池田中学校への連絡進学のと在り方と、附属池田小学校の規模の検討



教員養成大学の附属学校園として、将来にわたり求められる使命を果たしていくため、「第2期改革構想の方向性について」に基づき、具体化に向けた検討と関係者との協議を進める。その上で、令和8年度中に具体的な整備計画を「第2期改革構想」として取りまとめ、令和9年度に策定する「**第5期中期計画**」への反映を目指す。

## ■ 再編計画の具体化

- 天王寺・平野地区における2中学校・高等学校2校舎を1中学校・1高等学校の新たな併設型中高一貫校とする再編整備の方向性について、改革の観点に沿って、学校像と教育カリキュラム、設置の候補地、さらに各地区全体の将来像を検討し、令和8年度中に再編計画を取りまとめる。
- なお、附属学校園改革の先送りが困難であることから、中期的な視点に立つ再編計画の取りまとめに至らなかった場合は、定員割れや教員不足、施設老朽化、財源確保等、附属学校園にかかる課題に対する大学としての対処策を取りまとめる。

## ■ 本構想に基づく取組の具体化

- 池田地区における中学校・高等学校の教育改革について具体化と実行を進める。
- 平野小学校、池田小学校の規模等については引き続き検討を行い、令和8年度中にとりまとめる。

## ■ ステークホルダーへの第2期改革方針の説明と意見交換

- 令和8年度において、教職員、保護者、後援会等のステークホルダーに対し、本改革構想の趣旨や必要性について丁寧な説明を行い、意見交換を行う。